ボーリング柱状図

調　　査　　名　砂防指定地内河川 八幡川 通常砂防事業に伴う設計業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	1	3	2	1	3	8	7	0	0	1

シートNo.

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	No.0+1.56(L-0.82)			北緯	34° 09’ 28.4428″
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	平成27年11月25日～平成27年12月 1日	東経	132° 27’ 56.4392″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 140.58m	角度	180° 上 下 90° 0°	方向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機	東邦製DO型		ハンマー落下用具	自動落下		
	エンジン	ヤンマーNFD-13K		ポンプ	BG-3B		

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験	掘進 掘進月日	掘進速度 cm／時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l／分	排水量 l／分
1				コンクリート	褐灰～灰						既設堰堤。水通し部。 硬質な粗石とコンクリートの混合材料（粗石コンクリート）よりなる。空隙が部分的に認められる。									11/25	70	66(ケーシング)	シングル(ダイヤ)					
2																												
3											粗石は細～中粒花崗岩からなり非常に硬質。礫～短柱状コアとして採取。最大コア長40cm程度。															
4																												
5											コンクリートは粗骨材を含み，間隙が部分的に認められる。玉石との境界部ではわずかだが砂状となる。								11/26	40							
6																												
7																												
8											材料の割合は，粗石部66.5%，コンクリート部20.5%，空隙部，13.0%である。			11/30 8.04													
9																												
10																				11/27	60							
11	129.28	11.30																		11/28								
12				花崗岩	褐灰	B	Ⅲ	b	β	2	基盤岩。中～粗粒花崗岩。 岩片～短柱状コアとして採取。	16[L30](100)	CM		12.00	貫入不能												
13						C		c	γ	3		28[64](100)			13.00	貫入不能				11/30	40			20	150			
14						B		b	β	2	全体に硬質だが，GL-14.0mまで部分的に風化進行し，褐色を呈する。 風化部は密着した亀裂が多く発達し，ハンマー打撃で濁った金属音。	30[40](100)			14.00	貫入不能												
15	125.58	15.00			淡灰	B		b	β	2		15[29](100)			15.00	貫入不能				12/1								
16																												
17																												
18																												
19																												
20																												